

5 平成28年度特別講義一覧

はじめに

特別講義は、学生の皆さんが幅広い教養・素養を身につけ、卒業後各方面で最大限に能力を発揮できるようになることを目的として開講します。本学の専門分野の教育は充実しており、その内容・成果に十分な自信を持っていますが、それに加えて、教養面での教育を重視する意味で、様々な内容による特別講義を開講します。

平成28年度の特別講義は、専門教育を補完し、社会に出て役立つ、さらに就職試験にも役立つ多分野の教養的講座として厚木キャンパスでは1コース、世田谷キャンパスでは6コースを開講します。

なお、特別講義(一)～(四)(※短期大学部は(一)・(二))は開講時間が重ならなければ複数履修することができます、上級学年になってからでも履修することができます。

●厚木キャンパス開講コース

特別講義

●世田谷キャンパス開講コース

特別講義

- A コース 海外現場事情 ―国際活動実践論―
- B コース 実践文章表現 ―ジャーナリスト入門―
- C コース 源流大学 ―源流域で源流学を学ぶ― 体験基礎コース
- D コース 源流大学 ―源流域で源流学を学ぶ― 体験応用コース
- E コース 公開講座を聴く ―現代を生きる幅広の教養を―
- F コース 世田谷6大学コンソーシアム連携授業 「エネルギー資源科学」

●コース別開講目的

<厚木キャンパス>

特別講義

<コーディネーター 農学部長・バイオセラピー学科 教授 小川博>

これからの農学は、専門性を越えて、他の領域を取り込んで新たな体系化を図ることや、遺伝子から地球環境にいたるまで幅広い視点から課題を解決することが要求されている。この講義は、農業生産や人との関わりへの貢献等、農学領域で注目される動植物や微生物の力に焦点をあて、動植物の能力、その活用やつながりなどについて幅広く展開する。

<世田谷キャンパス>

A コース. 海外現場事情 ―国際活動実践論―

<コーディネーター 国際農業開発学科 教授 入江憲治>

本学は国際社会で活躍する多数の卒業生を輩出している。これらの活動に関連する学科の科目は、既に国際農業開発学科を中心に幾つかの学科のカリキュラムに配当されている。

本講義ではさらに、海外活動の現場で惹起する問題への実践的な対応力の向上に必要な実体験からのノウハウやアダプタビリティについて最新の情報を提供するものである。具体的には、国際機関、ODA、NGO、NPO、民間企業において活躍する経験者、有職者、本学卒業生による実践活動、そこでの苦勞・苦心・喜怒哀楽などの体験談や、これらの活動に対する実技術・知識・ノウハウを教授し、併せて海外体験の奨励を図る。

なお、本講義では海外活動への参画を大望する学生へ、そのチャンスと試験などアプローチの方法についても紹介する。

B コース. 実践文章表現 —ジャーナリスト入門—

＜コーディネーター 応用生物科学部 教授 北村行孝＞

論理的で、わかりやすく、誤解を招かない文章を書くためにはどうすればよいのか。各種の文章を作成することにより、文章表現の素養や技法を身につける。素材として新聞記事や時事問題をとりあげて、社会への関心を深める。また、長年新聞記者として報道・論評の現場に身を置いた経験を生かし、多様化するメディア環境のなかで、情報をどう受け止め発信するかというメディアリテラシーを高めるための指導を行う。

C コース. 源流大学 —多摩川源流域で源流学を学ぶ—体験基礎コース

＜コーディネーター 森林総合科学科 教授 宮林茂幸＞

このコースは、本学が多摩川源流域の山梨県小菅村で行っている「多摩川源流大学」プロジェクトに参加し、講義と体験実習をとおして源流域の自然や文化を学ぶ。学内において源流域の自然や文化を学ぶ講義を受講しながら、学んだことを実際に現地で体験実習することで、内容を確認し自らのものにするを目的としている。また、体験実習では小菅村の住民の方々を講師に迎え、森林整備活動として間伐や枝払い、農地での開墾や野菜の栽培、その他郷土食料理調理実習など様々な実習を通して現地の知恵を中心に学んでいく。なお、実習は小菅村だけでなく、岩手県一関市、福島県鮫川村等でも行い、流域や農山村に関わる幅広い知識の獲得と体験を行う。これらをとおして農山村の現状を学び地域問題の理解と解決能力の向上を養う。

D コース. 源流大学 —多摩川源流域で源流学を学ぶ—体験応用コース

＜コーディネーター 森林総合科学科 教授 宮林茂幸＞

このコースは、多摩川源流域の山梨県小菅村にある「源流大学」で、昨年基礎コースを修了した学生を対象に、実習を行う。このカリキュラムでは最終実習での村民へ向けた発表会にむけて、1年間専門的に農業、林業など自分の興味があるコースを選択し学ぶことができる。例えば源流域の森林管理や整備に関する基本的な森林調査や、また、源流域の農業体験では、地形的にも、規模的にも厳しい条件にあり、そうした中で、手の労働による農業技術、加工技術等を学ぶ。より深く源流文化に触れ、将来地域に入って活躍できる人材を育成する。

E コース. 公開講座を聴く —現代を生きる幅広い教養を—

＜コーディネーター 副学長・国際農業開発学科 教授 夏秋啓子＞

本学の教員および社会、経済、政治、文化、歴史、芸術、スポーツなどの各分野で活躍している学外講師による一般および専門教養を中心にトピックスな話題をテーマとし、社会生活上、必要な幅広い教養と社会性、美的センス、バランス感覚を身につけることを目的に開講する。併せて、市民に対し公開講座としても開講している。

F コース. 世田谷6大学コンソーシアム連携授業「エネルギー資源科学」

＜コーディネーター 副学長・国際農業開発学科 教授 夏秋啓子＞

世田谷6大学コンソーシアム協定大学(国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京農業大学、東京都市大学)間において、それぞれの大学の特色ある授業科目を開講する。世田谷区に所在する協定大学の利点を活かした、多様な学修の機会を提供するものである。本学では今年度の世田谷6大学コンソーシアム連携授業として、東京都市大学の教授による特別講義 F コース「エネルギー資源科学」を開講する。

特別講義(世田谷キャンパス開講)の履修登録について

履修する場合は、次のA～Fコースの中から受講するコースを選び履修登録すること。

コース	学期	曜日/時限	科目名	教員	教室	備考
Aコース	通年	木 5～6	海外現場事情 -国際活動実践論-	入江憲治	441	
Bコース	前学期	木 5	実践文章表現 -ジャーナリスト入門-	北村行孝	541	
Cコース	集中(通年)	水 5 他	源流大学 -源流域で源流学を学ぶ- 体験基礎コース	宮林茂幸	142	4/13・20(142教室)で開催するガイダンスに出席のこと
Dコース	集中(通年)	水 5 他	源流大学 -源流域で源流学を学ぶ- 体験応用コース	宮林茂幸	112	
Eコース	前学期	水 5～6	公開講座を聴く -現代を生きるための幅広いの教養を-	夏秋啓子	百周年	
Fコース	前学期	金 4	エネルギー資源科学	夏秋啓子	231	

【注意事項】

- 学部生は、特別講義(一)～(四)を履修することができる。
- 短大生は、特別講義(一)～(二)を履修することができる。

開講曜日・時限が異なれば1年間に2コース以上の履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。下表にもとづき履修登録してください。

はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義(一)」を履修登録し、順次(二)・(三)・(四)を履修登録してください。

	Aコース		Bコース		Cコース		Dコース		Eコース		Fコース	
	木 5～6	4171	木 5	4175	集中	4270	集中	4274	水 5～6	4167	金 4	4179
特別講義(一)												
特別講義(二)												
特別講義(三)												
特別講義(四)												
特別講義(一)												
特別講義(二)												